

# 訓練時系列（予定）

（※訓練進行状況により多少の時間変更あり。）

- 9 : 30 車両待機場所に各車両の移動を完了する。
- 9 : 50 訓練参加者は待機場所に集合し、訓練開始の合図で各車両に乗車する。
- 9 : 55 開始報告（中隊長→署長）
- 10 : 00 南海トラフ巨大地震発生。
- 10 : 01 済生会松山病院 職員が初期消火、避難誘導等を実施する。
- 火災発生 発煙筒着火**
- 10 : 05 西消防署隊が出動する。
- 10 : 06 約1分後に松山市消防団味生分団が出動する。
- 10 : 07 **西消防署隊現場到着**  
済生会職員は、指揮本部へ状況報告をする。  
指揮本部西側に病院の対策本部を設営し、現状を随時消防隊へ報告する。
- 各小隊長は指揮本部へ集結、活動方針決定後、活動開始する。
- 10 : 08 **西1**は、三連梯子を使用し2階ベランダの要救助者（歩行不可）を救出する。
- 西2**は、梯子車を着梯し、4階の手振り要救を救出する。  
救出後、梯上放水体制、消火活動を実施する。
- 西3**は、屋上の要救助者（歩行不可）を救出する。  
救出後、屋上から緊急脱出する。
- 西4**は、正面入口から進入し、消火活動（連送使用）及び建物内の逃げ遅れた要救助者を救出する。
- 救急隊**は、済生会松山病院から避難してきた傷病者の1次トリアージする。  
トリアージポスト、応急救護所を設営し、済生会松山病院と連携し、トリアージ、応急処置を実施する。

10:10 消防団は、西1が救出した要救助者（2階ベランダ）をトリアージポスト  
応急救護所へ搬送する。

女性消防団は、地域住民を済生会松山病院へ誘導する。その後、トリアージ、  
応急処置の支援活動をする。

10:30 応急処置終了・火災完全鎮火。  
訓練終了。（サイレン）  
終了報告（中隊長→署長）

10:33 訓練講評 松山市西消防署長

10:36 訓練挨拶 社会福祉法人 恩賜財団 済生会松山病院  
副院長 安岡 康夫

10:40 解散。

10:45 訓練資器材を撤収し、帰署する。